



三重大学 (三重県)

将来、日本や日本語に関係する研究や仕事を目指し、
国際的に活躍する人を育てるためのコースです。

■ 大学紹介

① 大学の特色及び概要

◆三重大学は、文学部、教育学部、医学部、工学部、生物資源学部の5学部があります。また、大学院は、

人文社会科学研究科、教育学研究科、医学系研究科、工学研究科、生物資源学研究科、地域イノベーション学研究科の6研究科があります。キャンパスは三重県津市にあります。自然環境に恵まれ、津市の西側には山が連なり、大学のキャンパスのすぐ東側では海岸に波が打ち寄せます。歩いて海岸に散歩に行くこともできます。



〈2025年5月1日現在〉

◆学生数・教員数
学部学生数：5,988名
大学院生数：1,190名
教員数：751名
外国人留学生数：266名（29カ国）

◆環境先進大学

本学は独自の「三重大学環境・SDGs方針」を策定し、環境マネジメント活動に取り組んでいます。

② 国際交流の実績

◆三重大学は、外国の127大学・機関と、大学間または学部間の学術交流協定を結んでいます。これらの大学とは、教員・学生の交流、学術情報の交換などを行っています。〈2025年4月1日現在〉

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生（日研生）の受入れ実績

	留学生	日研生
2025年度	266名	5名
2024年度	241名	5名
2023年度	261名	5名



◆三重大学国際戦略機構は、三重大学における国際交流の要として、本学の国際的な教育研究の充実、及び地域の国際化に寄与することを目的とし、様々な国際的な活動の企画・推進を行っています。

④ 地域の特徴

◆津市は、三重県の県庁所在地です。人口は約27万人、温暖な気候で暮らしやすいところです。交通も便利で、名古屋へのアクセスは約1時間、大阪・京都へは約2時間、東京へは約3時間です。

◆三重県は、文学・国学の豊かなところです。すでに8世紀には『万葉集』の詩歌にうたわれ、多くの小説の舞台となってきました。俳句を詠んだ松尾芭蕉は現在の三重県の地に生まれ、三島由紀夫が小説『潮騒』に描いた神島も三重県にあります。

◆三重県には多くの歴史的名所があり、たくさんの観光客が訪れます。伊勢市には「伊勢神宮」を中心とした多くの観光名所があり、亀山市の「関宿」は江戸時代の宿場町の街並みが保存されています。また、伊賀市は忍者の里として有名であるほか、熊野市を中心とする「熊野古道」は2004年7月に世界遺産に登録されました。

◆県内には多くのエンターテインメント施設もあります。鈴鹿市にある「鈴鹿サーキット」は日本のモータースポーツの聖地と言われ、世界各国から多くのファンが集まります。また桑名市には日本有数の遊園地「ナガシマスパーランド」があり、同じく桑名市の「なばなの里」は世界最高峰の花のテーマパークで、イルミネーションが人々を魅了します。



伊賀上野城



なばなの里



熊野古道

■ 研修・コースの概要

① 研修・コースの目的

a) 主に日本事情・日本文化に関する研修

② 研修・コースの特色

◆それぞれの指導教員の下、各自が設定したテーマに基づき、主体的に調査を進めます。

◆地域住民及び三重大学生、留学生との相互交流を通して、日本文化や異文化への理解を深めることができます。



③ 受入定員

7名（大使館推薦1名、大学推薦6名）

④ 受講希望者の資格・条件等

次の(1)と(2)の両方の条件を満たすこと。

- (1) 本国の4年制大学において、日本語・日本語教育・日本文化関係を専攻している人（2年生以上）。
- (2) 日本語能力試験N2以上か、それに相当する日本語力がある人（語彙を約4,000～6,000語、漢字を約600～800字以上、既に習得している人）。

⑤ 達成目標

日本語・日本文化の研究を通して、母国と日本のかけはしとなる学生の育成。

⑥ 研修期間（在籍期間）

研修期間：2026年9月下旬～2027年8月下旬
（在籍期間：2026年10月1日～2027年8月31日）

⑦ 奨学金支給期間

2026年10月～2027年8月

⑧ 研修・年間スケジュール

◆後期（秋学期）

- 9月 渡日／オリエンテーション
日本語プレースメントテスト
- 10月 授業開始
- 10月 学外研修
- 11月 大学祭
- 12月 国際交流デイズ
- 2月 授業終了
- 2月 日本語日本文化研修・中間発表会
- 3月 学外研修



◆前期（春学期）

- 4月 授業開始
- 5月 学外研修
- 7月 日本語日本文化研修・最終発表会
- 8月 授業終了
- 8月 盆踊り大会
修了式／帰国



⑨ コースの修了要件

研修（授業）が始まる前に、日本語プレースメントテストを受けます。プレースメントテストの結果により、中級Ⅱレベルか上級レベルに判定されます。
必修科目（日本語日本文化研修生専用科目・中級Ⅱレベル科目・上級レベル科目）及び選択科目から、各学期合計7科目以上受講し、また日本語による研修発表（中間発表会・最終発表会）をします。
成績判定は、教員による成績会議で総合的に判断されます。良い成績を収めてコース修了が認められた学生には、成績証明書及び修了証書を発行します。

⑩ 研修・コース科目の概要・特色

1) 研修・コース科目の特徴

◆日本語や日本文化、または三重県に関係するテーマを決めて、担当教員の指導のもと調査または実践活動を進めます。

2月中旬：日本語日本文化研修・中間発表会

7月中旬：日本語日本文化研修・最終発表会



2) 研修・コース開設科目（全て90分×16回／学期）

I) 必修科目

◆日本語・日本文化研修生専用科目

授業名	内容
(1) 日本語・日本文化演習	自分のテーマを決めて、担当教員の指導の下、個別に調査を進める。

◆中級Ⅱレベル科目

授業名	内容
(2) 中級Ⅱ：会話	自分の意見を述べ、ディスカッションや発表する力を涵養する。
(3) 中級Ⅱ：聴解	映像・音声教材を通して、生の日本語を聞き取り、聴解力を高める。
(4) 中級Ⅱ：作文	既習の文法事項や語彙を使って、論理的な文章を書く力をつける。
(5) 中級Ⅱ：文法	中・上級レベルの文法を理解し、産出できる実践的な能力を養う。
(6) 中級Ⅱ：読解	文章の中の語彙や文法を理解し、全体の趣旨を理解する能力を育む。
(7) 中級Ⅱ：日本語で学ぶ 三重の文化	三重県の名所を訪れ、文化を学び、三重県外の人々に紹介する。

◆上級レベル科目

授業名	内容
(8) 上級：ビジネス日本語	日本での就職活動や、就業にあたって必要な日本語を学ぶ。
(9) 上級：日本事情	日本社会の出来事や状況を学びながら、日本語能力を上達させる。
(10) 上級：国際共修で学ぶ 多文化	日本と様々な国の文化や社会について、日本人学生と共に議論し、学ぶ。
(11) 上級：作文	専門分野学習で必要とされる学術的な論文の書き方の基礎を学ぶ。

Ⅱ) 選択科目（英語科目）

授業名	内容
(12) 英語でエッセイ	事例やデータに基づいた英語エッセイの書き方を学ぶ。
* その他	複数の新しい英語科目が開講される予定です。

3) 見学・地域交流等の参加型科目

以下の科目では、三重県の様々な場所を訪問して地域の文化について学びます。

◆日本語で学ぶ三重の文化 [= 2)-I) 必修科目(7)]



4) 日本人学生との共修等

以下の科目は、留学生も日本人学生も受講し、ディスカッションやエッセイ作成を通して共に学ぶことができます。

◆国際共修で学ぶ多文化 [= 2)-I) 必修科目(10)]

◆英語でエッセイ [= 2)-II) 選択科目（英語科目）(12)]



⑪ 指導体制

- ◆松岡知津子准教授（専門：教育学・文法）
- ◆正路真一講師（専門：心理言語学・第二言語習得）

■ 宿舎

三重大学には現在留学生用の宿舎が三つあります。

「外国人留学生寄宿舎」は、留学生と日本人学生が部屋をシェアして共同生活し、異文化交流を通してグローバルな視点を持てる場となっています。

①外国人留学生会館（改装中）

②外国人留学生寄宿舎（2009年/2015年建設） 月額 7,500円～30,000円

③国際女子学生寄宿舎（1973年建設） 月額 5,900円



②外観



②共用キッチン



ミールド
（三重大学
マスコット
キャラクター）



シロモチくん
（三重県津市PR
キャラクター）



②居室ダイニング



③居室

■ 修了生へのフォローアップ

修了生と在校生の交流を目的に、12月の国際交流デイズ等でイベントを開く予定です。

■ その他の学習支援体制

◆日本語チューター

三重大学生が留学生の日本語の向上や日本文化への理解を深める機会を与えます。日常生活のサポートもします。

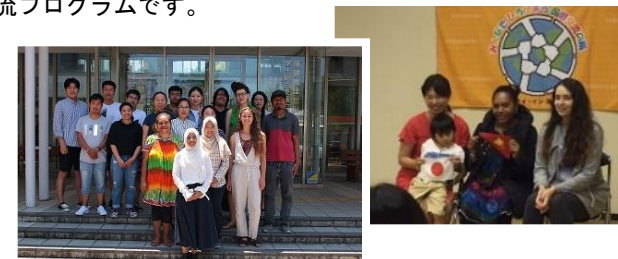
◆インターナショナルグループ

三重大学生による国際交流サークルです。一緒にイベントを企画したり、イベントに参加したりしながら、国際的な友達の輪を広げます。



■ ホストファミリー・プログラム

「セカンド・ホーム」というプログラムに登録し、週末や休日と一緒に楽しく過ごすためのホスト・ファミリーを持てる可能性があります。約30年の歴史を持つ市民交流プログラムです。



■ 問合せ先

<担当部署>

三重大学企画総務部国際戦略機構

住所：〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577

TEL：+81-59-231-9688（直通）

FAX：+81-59-231-5692

Email：ryugaku@ab.mie-u.ac.jp

<ウェブサイト>

三重大学国際戦略機構

<https://www.mie-u.ac.jp/international/index.html>

三重大学

<https://www.mie-u.ac.jp/>

